

西大和学園報

第 49 号
2018. 5. 12
発行
西大和学園



学校法人 西大和学園 理事長
田野瀬 太樹

人生を成功に導くキーワード

平成30年度がスタートしました。今年度も着実に教育内容を向上できるよう精一杯取り組んでいきたいと、気持ちを新たにしたいところで。さて今年の中学、高校の入学式では、最近アメリカで注目されている人生を成功に導くためのキーワード、「グリット」について話をしました。グリットとは「やり抜く力」を意味し、歴史上大きな成功を取めた人物や、現在様々なジャンルで活躍している経営者やアスリート等が必ず持っている資質であるとされています。成功をつかむための最重要ファクターは、生まれながらの才能や知能ではなく、この「やり抜く力」であり、新入生の皆さんには学校生活を通じてこの力を身につけて欲しいと伝えました。

当然ながらこの「やり抜く力」は我々にも必要です。グリットの大切な要素である「粘り強さ」と「情熱」をもって、人材を育てるという素晴らしい仕事に邁進したいと思っています。これからも西大和学園ならではの特色ある教育内容に磨きをかけ、生徒の個性や能力を最大限に伸ばすため精一杯取り組んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

卓越性と国際性を兼ね備えた学びを

西大和学園は1986年に田野瀬良太郎先生によって創立され「探究・誠実・気迫」の校訓のもと、既存の領域を超え、多岐にわたる概念を横断した教育を実践してきました。

開校から僅か20年足らずで全国の名立たる進学校と名を連ね、様々な人を惹きつけ、憧れの学校と言われるまでに成長し、西大和学園のその歴史は「奇跡」とまで評価されるようになりました。

それは、生徒たちが西大和学園独自の様々な体験を重ね、学ぶことの喜びを知り、努力し、保護者の皆様に信頼を寄せていただき、そのことに触発された教師が「教師としての情熱」を忘れなかった、それらの融合以外の何物でもありません。

さらなる未来に向けて、無限の可能性を秘めた生徒たちが、卓越性と国際性を兼ね備えた学びを獲得できる西大和学園を創り続けていきます。

2018年度、西大和学園に入学された皆さんに、心からお祝いを申し上げます。皆さんが、今日から西大和学園で、実り豊かな学校生活を送られることを心より願っております。



学園長
岡田 清弘

時勢に応じて、自分を変革せよ！

平成最後の年度が始まりました。平成の30年間は、アナログからデジタルへの大変革の時代でしたが、これからの未来は、AI、ロボット、遺伝子、宇宙分野など、さらに加速度的に変化すると言われています。

「時勢に応じて、自分を変革せよ」は、幕末に近代化を一气に押し進めた坂本龍馬の言葉です。自分を変革し続けた龍馬だからこそ、薩長同盟や大政奉還などダイナミックな行動がとれたのですが、この言葉は、激変する現在でも同じことが言えると考えています。

自分を変革するために必要な今後の過ごし方について私から3つ提案します。まず、「本物に触れ、肌で感じる」ということです。AIやVRなどの先端テクノロジーに触れたり、海外探究プログラムで進化するインドやベトナムの勢いを自分の肌で感じるなど、激変する世界を体感することです。2つ目は、「すごい人に会い続ける」ということです。龍馬もすごい人に会い続けて多くの貴重な情報を得たからこそ、考え方や行動も変わったのではないのでしょうか。3つ目は、難題に挑戦し、苦勞、失敗などの逆境を経験するということです。「逆境を転じて、その逆境さえ、前進の一步に加えていく」という言葉どおり、逆境をプラスに考える力強さこそ、激動する時代には不可欠ではないでしょうか。ぜひ有意義な高校生活を過ごし、世界を変えるプラチナ人財になってくれることを期待しています。



高等学校長
中岡 義久

持てる才能と能力を惜しみなく発揮できる環境がここにある。何事にも前向きに

科学技術が高度に発達し、超グローバル社会の中で生きぬく人材育成のために世界各国が国策としてSTEM（科学・技術・工学・数学）分野のイノベーション人材育成戦略の実施に取り組んでいます。わが国でもこれに関連する施策の一つとしてSSHがあります。主体的・対話的で質の高い深い学びを実現させ、知識・技能は言うまでもなく、思考力・判断力・表現力・学びに向かう姿勢を培うことを主眼に置いた新学習指導要領において、SSH事業によってたらされた成果が少なからず寄与しています。

しかし今、この取り組みが見直されようとしています。文科省では「SSH支援事業の今後の方向性等に関する有識者会議」が設置され、広く議論され検討されています。その会議において本校は全国のSSH校二百校余りのうちの三校に選ばれ、先進的な取り組みと目指す人材育成像について意見を進言する機会に恵まれました。本校に与えられた質問内容は超進学校におけるSSH事業の有意性と効果です。本校の教育内容が日本の教育をけん引しており、その実績を高く評価された一面と言っても過言ではないかと思っています。

生徒の皆さんは西大和学園でのあらゆるシーンで知的好奇心と問題意識のアンテナを敏感にしている何事にも積極的に取り組んでもらいたいと思います。ひとたび好きなことを見つけるといつい時でも乗り越えられます。時間を忘れて打ち込みます。目標を成し遂げた時に自分のゆるぎない自信につながります。素晴らしい能力や個性を持っている本校の生徒ひとりひとりが、生き生きと輝ける学校であると同時に夢をもてる学校に育ててくれるために私たち教員も粉骨砕身、誠心誠意尽力する決意しております。保護者の皆様には旧倍のご理解とご支援をいただきますようにとぞよろしくお願い申し上げます。



中学校長
東 孝信

日本一の進学校を目指して

進学
統括室

大学入試改革

グローバル化・人工知能・IoTの拡大、ロボティクスの発達する時代、我々に必要となる能力も変化してきました。つまり、これまでのような定型業務処理能力や、暗記力などの能力ではなく、「人工知能では解けない想定外の問題を乗り越えられる力」「創造的・協働的活動をし、それをやり遂げる力」、そして「主体性を持って取り組む力」などが求められています。そこで文部科学省は、これまでの知識偏重の教育ではなく、未来社会で重視される力として次の「学力の3要素」を挙げて教育改革を行い、大学入試の改革も行おうとしています。

『学力の3要素』

・基礎的・基本的な知識・技能
・知識・技能を活用して、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等
・主体的に学習に取り組む態度

文部科学省は、2021年からの大学入試改革として次のような方向性を示しています。

まず、国立大学の入試形態は、大きく二つに分かれています(表1)。

一つは、「大学入学共通テスト」という共通の一次試験を受験し、その結果を踏まえて大学ごとに二次試験として個別学力検査を受験して合否が決まる形態ですが、この二次試験は、「学力の3要素」の一つである「思考力・判断力・表現力」をこれまでに以上に評価するものとすること、そして二次試験についても書類審査や面接などを導入し多面的に評価するとしています。

もう一つは、志望理由書や学習計画書などの書類、小論文、面接などによって決まる「AO入試(総合型選抜)」「推薦入試(学校推薦型選抜)」と呼ばれる形態で、「大学入学共通テスト」の活用などで一定の学力

を担保した上で、調査書などの出願書類に加えて、小論文や面接、プレゼンテーションなど多様な評価を加味した入試です。この形態で、定員の30%にすることを指すとしています。

今後、大学入試改革は「学力の3要素」を多様な方法で多面的・総合的に評価するという点に基づいて、より具体的に進んでいくことでしょう。

大学入試共通テストについて(表2)

現在の大学入試センター試験は、2021年度からは「大学入試共通テスト」に変わります。ただ、共通テストは、センター試験とは全く違うような報道が見られますが、少なくとも現行の学習指導要領に基づいて実施される2024年度入試までは、現在のセンター試験を改善したものです。センター試験から大きく変わる点は次の3点です。

1. 国語(現代文)と数学(数I・A)で記述式問題を導入する。
2. 英語で4技能(読む・書く・聞く・話す)を評価するために、民間の英語4技能資格・検定試験を「英語認定試験」として、共通テストの英語と併用する。
3. 思考力、判断力、表現力をいっそう重視した作問のためにマークシート式問題の改善を行う。(複数の選択肢を組み合わせて解答する「運動型複数選択肢問題」・正解が一つに限らない問題、数値や記号を直接マークする問題など)

ただし、民間の英語4技能資格・検定試験のデータについて東京大学は、民間の試験の目的や基準が異なり、また入試に必要な公平性の担保などに疑問があることから、合否の判定に使わず、あくまで入学後の追跡調査などに利用するとしています。

東京大学等の入試改革

新たな時代に対応するため、東京大学をはじめ各大学は入試改革を始めています。多面的・総合的に評価する入試は、各大学の推薦入試問題などに見られます。

発明や発見は人間の独創的な活動によってもたらされ、新しい価値を生み出し、社会に様々な影響を与えてきた。これまでの人類の歴史の中で、あなたが特に独創的であると感じた発明や発見を一つ取り上げ、なぜそう感じたのか、説明しなさい。また、あなたがとって、真の独創性とはどのようなことか、述べなさい。

(H30 東大 工学部 推薦入試小論文 600(800字))

本校の教育改革

本校は、中学校から英語教育としてベルリッツと連携しての国際理解教育やイマージョン教育、多読、そしてオンライン英会話などを取り入れています。また、放課後には希望者対象に英検・TOEFL講座を開設し、英語4技能の育成に取り組んでいます。また多面的・総合的に物事を考える力をつけるために、早い段階からキャリア教育、卒業研究、文科省指定のSSHやSGHなどを取り入れ、中学高校の枠を超えた教育を実施しています。今後も大学入試改革を見据えた上で、本校が目指す「グローバル社会でリーダーとして活躍していく人材」を育成するために教育改革に取り組む、日本一の進学校とする決意をしています。

2018年度の大学合格者数(国公立)

大学名	合格者	内現役
北海道	4(1)	2
東北	2(1)	1(1)
茨城	1	0
群馬	1(1)	0
東京	30	26
東京工業	1	0
東京海洋	1	1
東京農工	1	0
一橋	2	1
横浜国立	4	1
新潟	2(2)	0
富山	1(1)	0
金沢	2(2)	0
福井	1(1)	0
山梨	2(1)	1
信州	4(3)	1(1)
名古屋	2(1)	1
名古屋工業	1	0
岐阜	2	2
三重	1	0
滋賀医科	2(2)	0
京都	57	34
京都工芸繊維	5	1
大阪	21(1)	8(1)
大阪教育	1	1
神戸	27(1)	11(1)
奈良女子	1	1
和歌山	5	0

大学名	合格者	内現役
鳥取	2(1)	1
島根	1(1)	0
岡山	5(2)	2(1)
広島	3	0
山口	2(2)	0
徳島	2(1)	0
香川	1	1
九州	3(1)	0
長崎	1(1)	1(1)
大分	1(1)	0
宮崎	1(1)	1(1)
会津	1	1
国際教養	1	0
横浜市立	2(2)	0
富山県立	1	1
静岡県立	1	0
名古屋市立	2	2
滋賀県立	1	0
京都府立医科	4(3)	2(2)
大阪府立	19(6)	6(3)
大阪府立	19	5
兵庫県立	2	0
奈良県立医科	9(9)	3(3)
和歌山県立医科	6(6)	3(3)
北九州市立	1	0
九州歯科	1	1
合計	276(55)	123(18)

()は医学部・医学科の内数

表1 2020年度以降の国立大学の個別入試の主な基本方針

入試形態	2020年度以降の主な基本方針
2次試験 (一般選抜)	◎例えば、複数の素材を編集・操作し、自らの考えを立論し、さらにその過程を表現する能力を適切に評価できる問題など、「学力の3要素」の一つである「思考力・判断力・表現力」をこれまで以上に評価する高度な記述式試験を実施する ◎学力試験に加えて、学習意欲など、学力試験によっては測ることのできない能力や態度をより適切に評価するため、調査書や受験生本人が記載する資料（志望理由書や学習計画書など）、面接などを活用する方法を検討し、実施可能なものから順次導入していく
AO入試（総合型選抜） 推薦入試（学校推薦型選抜）	◎2021年度までに国立大学全体としてAO入試、推薦入試の占める割合を入学定員の30%とすることを目標とする ◎「大学入学共通テスト」の活用などで一定の学力を担保した上で、調査書などの出願書類に加えて、小論文や面接、プレゼンテーションなど、多様な評価方法を活用し、これら学力試験以外の要素を加味した丁寧なAO・推薦入試を拡大していく

※（ ）内は2020年度以降の正式名称

表2 2021年度入試～2024年度入試における大学入学共通テストの制度設計

	2021年度入試～2024年度入試（高1～中1）
対象	●大学入学希望者（国公立大学必須、私立大学任意）
出題方針	●思考力・判断力・表現力の判定機能を強化●難易度はアップ ●選抜性が高い大学が活用できるように、各設問の難易度は広範囲に設定する
出題教科・科目	●現行のセンター試験と変更なし（英語は2024年度入試までは出題）
実施日程	●実施日はセンター試験と同じく、1月中旬実施 ●マークシート式問題と記述式問題は同日日程、同一時間内で実施
マークシート式問題の改善	●連動型複数選択問題、正解が一つに限らない問題、解がない問題、必要な数値や記号等をマークする問題等導入
記述式問題の導入	●「国語」、「数学」で導入、採点には「民間事業者」を活用 ●結果の表示の仕方は、国語は段階別評価、数学はマークシート式と同じく正答または誤答のいずれか ●実施日は1月中旬実施 <国語>試験時間80分→100分●記述式の出題範囲は「国語総合」（古文・漢文を除く）で行う ●大問1題追加、最大80～120字程度の問題を含め小問3問程度 ●「実用国語」の出題（ただし、「文学的な問題」の出題を否定するものではない） ※各大学が個別選抜において利用できるように記述式問題・採点基準を提供することも検討＜個別試験問題の提供＞ <数学>試験時間60分→70分●「数学Ⅰ」及び「数学ⅠA」（出題範囲は数学Ⅰ）で記述式設問を出題 ●1つの大問内で前半はマークシート式問題、後半は記述式問題という形式 ●解答を数式や文章で表現する（証明問題や論証問題は出題されない）
英語4技能の評価への対応	●共通テスト（英語）と認定試験（民間の英語4技能資格・検定試験）を併用 ※国立大学は共通テストと認定試験の両方を利用（公立大学や私立大学は各大学がいずれを利用するか、あるいは両方を利用するかを決定）
英語認定試験の制度設計（表3）	●民間の英語4技能資格・検定試験を活用 ●ケンブリッジ英語検定、TOEFL iBT、IELTS、TOEIC、GTEC、TEAP、英検（1日完結型、4技能CBT）等 ※試験結果はスコア等とCEFR（セファール：外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ共通参照枠）の段階別成績表示を志願大学に提供する。 ●高3の4月～12月に2回まで受験可能で、結果の良い方を採用
試験実施回数	●年1回実施
成績の提供	●受験生への成績提供方法は現行通り、共通テスト出願時の申請者に送付 ●大学への成績提供は多様な情報（各科目の領域ごと、問いごとの解答状況）を提供 ●大学への成績提供日は現行（1月末日）より1週間遅れ
合科目型の出題	●出題しない

表3 各資格・検定試験とCEFRとの対照表

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語技能検定 1級～3級	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W
C2	230 200 (230) (210)			9.0 8.5				
C1	199 180 (190)	3299 2600 (3299)	1400 1350 (1400)	8.0 7.0	400 375	800	120 95	1990 1845
B2	179 160 (170)	2599 2300 (2599)	1349 1190 (1280)	6.5 5.5	374 309	795 600	94 72	1840 1560
B1	159 140 (150)	2299 1950 (2229)	1189 960 (1080)	5.0 4.0	308 225	595 420	71 42	1555 1150
A2	139 120 (120)	1949 1700 (1949)	959 690 (840)		224 135	415 235		1145 625
A1	119 100 (100)	1699 1400 (1699)	689 270 (270)					620 320

 は各級合格スコア ※括弧内の数値は、各試験におけるCEFRとの対象関係として測定できる能力の範囲の上限と下限

年間行事予定 (H30.4.20現在)

10 月			11 月			12 月			1 月			2 月			3 月		
日	曜	行事予定	日	曜	行事予定	日	曜	行事予定	日	曜	行事予定	日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	月	午前中授業	1	木	中3アメリカグローバル 研修プログラム2班帰国	1	土	高2会員の集い	1	火	元旦 冬期休業 閉寮	1	金		1	金	高校卒業式予行
2	火	前期期末考查	2	金		2	日		2	水		2	土		2	土	高校卒業式・謝恩会
3	水		3	土	文化の日	3	月	午前中授業	3	木		3	日		3	日	
4	木		4	日		4	火	後期中間考查 (高校3年除く)	4	金		4	月		4	月	午前中授業
5	金		5	月		5	水		5	土		5	火	午後 高校入試の準備	5	火	後期期末考查
6	土		6	火		6	木		6	日	(~16:00)	6	水	高校入試	6	水	
7	日		7	水		7	金		7	月	生徒集会・LHR・大掃除 授業開始(4限目まで)	7	木		7	木	
8	月	体育の日	8	木		8	土		8	火		8	金		8	金	
9	火	後期開始式 特別校時 答案返却日	9	金		9	日		9	水		9	土		9	土	
10	水		10	土		10	月	答案返却日	10	木		10	日		10	日	
11	木		11	日		11	火		11	金		11	月	建国記念の日	11	月	答案返却日
12	金		12	月		12	水		12	土		12	火		12	火	
13	土		13	火		13	木		13	日		13	水		13	水	
14	日		14	水		14	金		14	月	成人の日	14	木		14	木	
15	月		15	木		15	土		15	火		15	金		15	金	
16	火	成績確認日(放課後) 生徒会役員選挙	16	金		16	日		16	水		16	土		16	土	J1スキースクール
17	水		17	土		17	月	成績確認日(放課後)	17	木		17	日		17	日	
18	木		18	日		18	火		18	金		18	月		18	月	J2ヤング・アメリカンズ
19	金		19	月		19	水		19	土	大学入試センター試験 (H3)	19	火		19	火	中学卒業式予行 成績確認日(放課後)
20	土	中2会員の集い	20	火		20	木		20	日		20	水		20	水	中学卒業式
21	日		21	水		21	金	1・2限授業・生徒集会 大掃除	21	月	自己採点日(H3)	21	木		21	木	春分の日
22	月	中3アメリカグローバル 研修プログラム1班(~10/31)	22	木		22	土	三者面談会	22	火	前期対策講座開始(H3)	22	金	マラソン大会	22	金	終業式 LHR 大掃除 閉寮(17:00~)
23	火	2班(10/23~11/1)	23	金	勤労感謝の日	23	日	天皇誕生日	23	水		23	土		23	土	春期休業
24	水		24	土	中3会員の集い	24	月	振替休日	24	木		24	日		24	日	
25	木	高1海外探究プログラム (~10/30)	25	日		25	火		25	金	三者面談会(H3)	25	月		25	月	
26	金		26	月		26	水		26	土		26	火	定期考查一週間前	26	火	
27	土		27	火	定期考查一週間前	27	木	閉寮(17:00~)	27	日		27	水		27	水	
28	日		28	水		28	金	冬期休業(~1/6)	28	月		28	木		28	木	
29	月		29	木		29	土	冬期休業	29	火					29	金	
30	火		30	金		30	日		30	水					30	土	春期完全休業 (~4/3)
31	水	↓1班帰国 高1代休	30	土		31	月		31	木					31	日	
備 考			備 考			備 考			備 考			備 考			備 考		
球技大会…下旬			心の教育講演会			センターマラソン(H3) …下旬~1月上旬			心の教育講演会 国公立大学二次試験出願 …下旬			内部進学説明会(J2) 国公立大学前期試験 …2/25・26 私立大学入学試験…2~3月			国公立大学後期試験 …中旬		

平成30年度 西大和学園 中・高等学校

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
日	曜	行事予定	日	曜	行事予定	日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	日		1	火		1	金	創立記念日	1	水	生徒集会・LHR・大掃除 授業開始(4限目まで) 放課後文化祭準備
2	月	春期休業	2	水	閉寮(17:00~)	2	土	答案返却日	2	木	
3	火	閉寮(~16:00)	3	木	憲法記念日	3	日		3	金	
4	水	始業式	4	金	みどりの日	4	月		4	土	閉寮(17:00~)
5	木	校内オリエンテーション 写真撮影・身体測定	5	土	こどもの日	5	火		5	日	
6	金	授業開始 二者面談	6	日	(~16:00)	6	水		6	月	※イングリッシュキャンプ(J3~H2) ※H1ホームステイプログラム
7	土	中学入学式(午前) 高校入学式(午後)	7	月		7	木	中1会員の集い	7	火	
8	日		8	火	J3ヤングアメリカンズ	8	金		8	水	
9	月	新入生身体測定 新入生オリエンテーション	9	水		9	土	成績確認日(放課後)	9	木	
10	火	新入生校内 オリエンテーション	10	木		10	日		10	金	
11	水	高校新入生 オリエンテーション合宿	11	金		11	月		11	土	山の日
12	木		12	土	2限授業・育友会総会 寮高校保護者懇談会	12	火		12	日	
13	金		13	日		13	水		13	月	夏期完全休業
14	土	新入生歓迎 フェスティバル(J1)	14	月		14	木		14	火	
15	日		15	火		15	金		15	水	
16	月		16	水		16	土	高1会員の集い	16	木	閉寮(~16:00)
17	火		17	木		17	日		17	金	
18	水		18	金		18	月		18	土	
19	木		19	土		19	火	定期考査一週間前	19	日	
20	金	遠足	20	日		20	水		20	月	高校全学年、中学3年 (特別補習または学年の取り組み)
21	土		21	月		21	木		21	火	
22	日		22	火	中1,2,3中テスト(英数)	22	金		22	水	
23	月		23	水		23	土	高3会員の集い	23	木	
24	火		24	木		24	日		24	金	中学1年、2年 (学年の取り組み)
25	水		25	金		25	月	午前中授業	25	土	
26	木		26	土	体育祭準備	26	火	前期中間考査	26	日	
27	金	中学校新入生オリエンテーション合宿	27	日	体育祭準備	27	水		27	月	富士登山(J2)
28	土		28	月	体育祭予行	28	木		28	火	農村体験(J1)
29	日	昭和の日	29	火	体育祭準備 青雲寮中学保護者懇談会	29	金		29	水	
30	月	振替休日	30	水	体育祭(京セラドーム)	30	土		30	木	
			31	木	代休				31	金	
備 考		備 考		備 考		備 考		備 考		備 考	
クラブ紹介 自転車通学者願い 海外探究プログラム コース説明会(H1) …4/28 ホームステイプログラム 説明会(H1) …4/28		自転車安全指導		郡中体 ファームステイ保護者対象 説明会(J1)		※高3夏期講座 (完全休業除く~8/31) 富士登山保護者対象 説明会(J2) 心の教育講演会(中・高) …下旬 高校野球応援(H2)		※イングリッシュキャンプ(J3~H2) …8/6~8/10 ※H1ホームステイプログラム …8/6~8/15		避難訓練 人権教育講演会 県高校総体 文理選択・中3アメリカ グローバル研修プログラム 海外探究プログラム説明会 推薦入学説明会…下旬 大学入試センター試験 出願説明会	

学校行事

中一ファームステイ



収穫したサツマイモのひげ取り

10月19日～10月21日、教員10名生徒225名でファームステイに行ってきた。1組、5組は甲賀市、2、3、5組は日野町へ。あいにくの雨ではありましたが、ステイ先のご家庭で様々な体験をさせていただきました。自分たちが



みんなで慣れないご飯づくり

が普段何気なく食べている野菜や乳製品がどのようにして自分たちの手元に届けられているのかを間近で体験し、食のありがたみを実感できたと思います。

普段の生活の中ではなかなか体験できないような貴重な体験の数々を、今後も大切にしてほしいと思います。

中二 春の遠足

4月21日、中学2年生は、大阪イングリッシュビレッジ(OEV)および万博記念公園に行きました。

OEVは「絵本の中の『アメリカ』をテーマにした、英語を楽しみながら学ぶことのできる体験型英語教育施設です。中学2年生から始まるオンライン英会話および、その先にある中3アメリカグローバル研修プログラムに向けた事前学習として実際に身近な英会話を体感してきました。1班5～6人で、アメリカの日常や歴史、文化がテーマの23種類のシチュエーションルームを順次訪問していきまし。遠足の前に調べた語彙や表現を使い、自己紹介をしたり説明を行ったりと、一人ひとりが頑張ってコミュニケーションをとることができました。

OEVで英語を使って体験中



『太陽の塔』の前で集合写真

午後、OEVにて昼食をとり英会話を楽しんだ後、万博記念公園に行きました。こちらでも班別行動し、自然に触れながら文化施設を訪れました。

これらの体験が彼らのステップアップにつながり、中2通年で行ってきたオンライン英会話の成果とともに、中3アメリカグローバル研修プログラムで活躍できることを期待しています。



中三 アメリカグローバル研修プログラム



中学3年生は10月16日・17日と2班に分けて、アメリカグローバル研修プログラムのために渡米しました。今年度はユタ州セントジョージにてホームステイを実施し、地元のミドルスクールやディクシー大学にてさまざまなアクティビティに取り組みました。



ディクシーミドルスクールにて

このプログラムでの経験を生かし、将来「グローバルリーダー」として飛躍してくれることを期待しています。

そして扉が開く。すると世界がそのとき変わった。それまで自分が知っていた世界ではない。空間の広さが小さくなる。人々の顔も、すべての記号も変わってしまう。なんなんだろう、この気持ちは。虚無感の高波にのみこまれる。

もうすっかりアメリカの文化や習慣に浸ってしまったので、脳が日本語モードに切り替わってくれない。

でも本当は、それはいいことなのではないか。こういう状態になるということは、この2週間弱、むだにならないように過ごせたということだ。

悲しさの中に、ほのかな嬉しさを見つけた時、目の前の家の扉が開く。

(生徒感想文より)

高一 海外探究プログラム



高校一年生の「海外探究プログラム」では、新興国の現状を知るため海外研修を行い、現地校との交流をします。

29年度はインド、ベトナム・カンボジア、シンガポール・マレーシアの三つのコースに分かれ、現地の歴史文化の見学に加えて、同時にその風土の中でグローバル化の波を迎える人びとの暮らしについて研修を行いました。

インドコースでは、二つの現地校と交流を行いました。スラムで学校を開校したことが身寄りのない子供たちの人生を変え、地域の生活水準を大きく変えつつあることを学びました。

また日本科学振興機構よりサクラサイエンスプランの採択を受けて10名の生徒が本年度来日してくれたDAV校での体験授業では、伝統を基盤としつつ高い水準で中学生高校生たちが学んでいることが分かりました。

日本の20倍といわれる若年人口を持ち、超大国化の途上にあるインドの中でも、DAV校は上位の国立大



DAV 校での体験授業での様子

学に進むための学力水準を実に85%以上の生徒が保持している進学校です。「貧困」という既成概念にとられず、こうした新興国の経済発展に先進国として今後関わっていく方向性を考える良い機会になりました。

SSH (スーパーサイエンスハイスクール)



中学では「SSJ」として、中学1年生の体験学習、中学2年生のクエスト、中学3年生の卒業研究を全員が経験することで、知的好奇心や論理的思考力を養います。

高校の「SSH」では、希望者が「サイエンス研究メソッド」として登録を行い、さらに高度な研究に取り組みます。研究の基礎的な手法を学んだ後、企業を通して研究テーマを考えたり、自分たちで自由に研究テーマを考えたりする課題研究を経験し、高校2年生では京大・阪大・奈良先端大の研究室にて実習を行う「ラボステイ」を実施します。普通の高校生では体験できないレベルの高い環境や人々に感化され、生徒たちは大変刺激を受け、大きく成長します。



高校2年生のラボステイ。大学院で実習中。

SGH (スーパーグローバルハイスクール)



SGHでは発表テーマごとに全12チーム分かれて、「インド、ベトナム・カンボジアにおける貧困問題を解決するビジネスプランの提案」についての研究活動を行ってきました。海外探究プログラムで現地を視察して知見を広めることや、積極的に企業・研究機関との連携を密にとることで、ビジネスプランの質を高めることができました。最終研究発表会では全編英語におけるプレゼンテーションも行いました。また、本年度は第5回JFC高校生ビジネスプラングランプリにおけるセミファイナリスト受賞、文部科学省SGH全国高校生フォーラムにおける生徒投票受賞など、このような目に見える実績を残すことができました。



SGH生徒最終研究発表会の様子

2014年4月に開学した大和大学。先日、記念すべき第1回卒業式・学位授与式が挙行政され、教育学部、保健医療学部の第1期生が社会に巣立っていきましました。また3年目に入る政治経済学部では、いよいよ就職活動モードに突入。学部とキャリアセンターが一体となって学生一人ひとりにきめ細やかなサポートを行っていきます。

さて、かねてより総合大学をめざす本学では、いよいよ2019年4月、「理工学部」を開設します。機械工学、電気電子工学、システム情報工学、建築学の4専攻を設置。AI、VR、宇宙システム、新エネルギーなど次世代の科学技術の中心となりうる分野の研究センターを多数設置するとともに、日本を代表する企業とのコラボレーションなどの特色ある教育を展開していきます。同時にオープンオフィススタイルの斬新な理工学部棟を建設。グラウンド整備なども同時に行われキャンパスは大幅に拡大されます。

ますますの発展をめざす大和大学にぜひご注目ください！



大和大学

Yamato University

20周年を迎えた白鳳短期大学



白鳳短期大学は昨年秋に創立二十周年記念式典を挙行了しました。目まぐるしく変化する社会のニーズを的確に捉え、教育の内容やシステムに反映させることにより、トップレベルの国家試験合格率や全国唯一の資格取得制度などを実現し、各分野から高い評価を得ています。

今年度からは、大和大学との相互連携を一層充実させて大学編入定員枠の設置や本学専攻科への受け入れなどを開始しました。

これからも白鳳短期大学は、「教育・保育」「リハビリテーション」「看護」「国際教育」の各専攻において、西大和学園グループ共通の目標である「学生一人ひとりに情熱を傾ける教育」を実践し、躍進を続けていきます。

学校法人 西大和学園

白鳳短期大学

HAKUHO COLLEGE




西大和学園保護者の皆様、こんにちは。西大和学園カリフォルニア校の学園長を勤めております西川勝行と申します。西大和学園カリフォルニア校もここサンセレスの日本人コミュニティでは、知らない人がいないまでに成長し、当地における日本人教育の一翼を担っております。それでは私たちの学校、NAC (Nishiyama Academy of California) について紹介いたします。

創立26年目のアメリカ西海岸唯一の文部科学省認定の「私立全日制日本人学校」です。学校があるのはロサンゼルス郊外のロミタ市です。この地域は日本人がとても多く在校生のほとんどがこの地域の日系企業の駐在員の子供たちです。幼稚園、小学校、中学校の14学年で約170人の子どもたちが在籍しております。また創立16年の土曜補習校もこの4月には650人になり全日制、土曜補習校合わせ820名を越える大所帯になり、学校全体が活気に満ち溢れています。土曜補習校とは、普段、アメリカの現地校に通っている日本人の子供たちが、土曜日の現地校に通って土曜日のために永住している日本人及び日系人の子供たちがたくさん通っています。

NACでは、子どもたちの個性を伸ばし、豊かな人間性と感性を育み、思いやりのある真の国際人の育成を目指すことを教育目標として日々懸命に取り組んでおります。これからのカリフォルニアで日本の本校の皆さんに負けないようにがんばる子どもたちを育てて行きたいと思っておりますので、会員の皆様方には、今後とも暖かいご支援、ご声援を賜りますようお願い申し上げます。



西大和学園
カリフォルニア校
学園長 西川勝行

